

第6次宝塚市総合計画の策定に向けた市民ワークショップ 

タカ ラ  
ミ ラ イ  
ラ ボ  
♪

# タカラボ

## 提言書

～わたしの舞台は たからづか～

令和元年7月



# はじめに

## ■第6次宝塚市総合計画策定に向けた市民ワークショップ<sup>※1</sup>「タカラ ミライ ラボ(略称:タカラボ)」

「タカラボ」は、令和3年度からスタートする新しい第6次宝塚市総合計画の策定にあたり、宝塚市のめざすまちの姿などについて市民<sup>※2</sup>の意見を取りまとめ、市へ提言を行うために設置されました。

総合計画の策定過程にワークショップの手法を取り入れたのは宝塚市では初めての試みでした。公募により集まった10～80代の市民42名と若手市職員10名が参加し、ワークショップを通して、それぞれの想いを出し合いました。

## ■提言書ができるまで

平成31年2月に「タカラボ」がスタートし、令和元年6月までに延べ9回のワークショップ（延参加者数317名）と5回の作業班（延参加者数39名）の活動が行われました。めざすまちの姿やその実現のために私達ができることなどについて意見を出し合い、本提言書を取りまとめました。

## ■市民主体の取組

このような市民ワークショップが行われる場合、専門のファシリテーターを毎回入れることが多いのですが、「タカラボ」は、参加者の主体性を重視した形で行いました。また、座長を置かず、全員でゼロから創り上げるやり方は、難しい場面もありましたが、参加者が主体となって取りまとめた過程は、大変意義深いものでした。

## ■提言書にこめられた想い

この提言書の内容は、精緻なデータ分析に基づく、また、全ての意見を代表した網羅的なものではありません。むしろここには、通常出会うことのないさまざまな世代・立場の市民が集い、自由な意見を交換した結果として、宝塚が大好きでまちをもっと良くしたいという想いを反映させました。

## ■これからのまちづくりに向けて

市は提言書にこめられた熱い想いを受け止め、ぜひ、第6次宝塚市総合計画に活かしていただきたいと思えます。

提言書の取りまとめという役割はここで終わりますが、私達はこのワークショップに参加したことを契機に、それぞれの立場、方法で活動し、情報発信を行います。そのことがきっかけとなり、多くの市民がまちづくりに関心を持ち、参加していただけることを願います。

末筆ながら、アドバイザーとして関わっていただいた近畿大学 久教授、タカラボを設けていただいた宝塚市、関係者の方々に感謝を申し上げます。

令和元年7月17日

第6次宝塚市総合計画の策定に向けた市民ワークショップ「タカラ ミライ ラボ」一同

※1 「市民ワークショップ」

ワークショップとは、集団で、ある特定のテーマについて討議し、合意形成を図って、結果を出す方法です。タカラボでは、参加メンバーが6つの班に分かれ、付せん紙や模造紙等を使い、意見を出し合い、班の意見をまとめ、班の意見を全体で共有して、最終案を作りました。

※2 「市民」

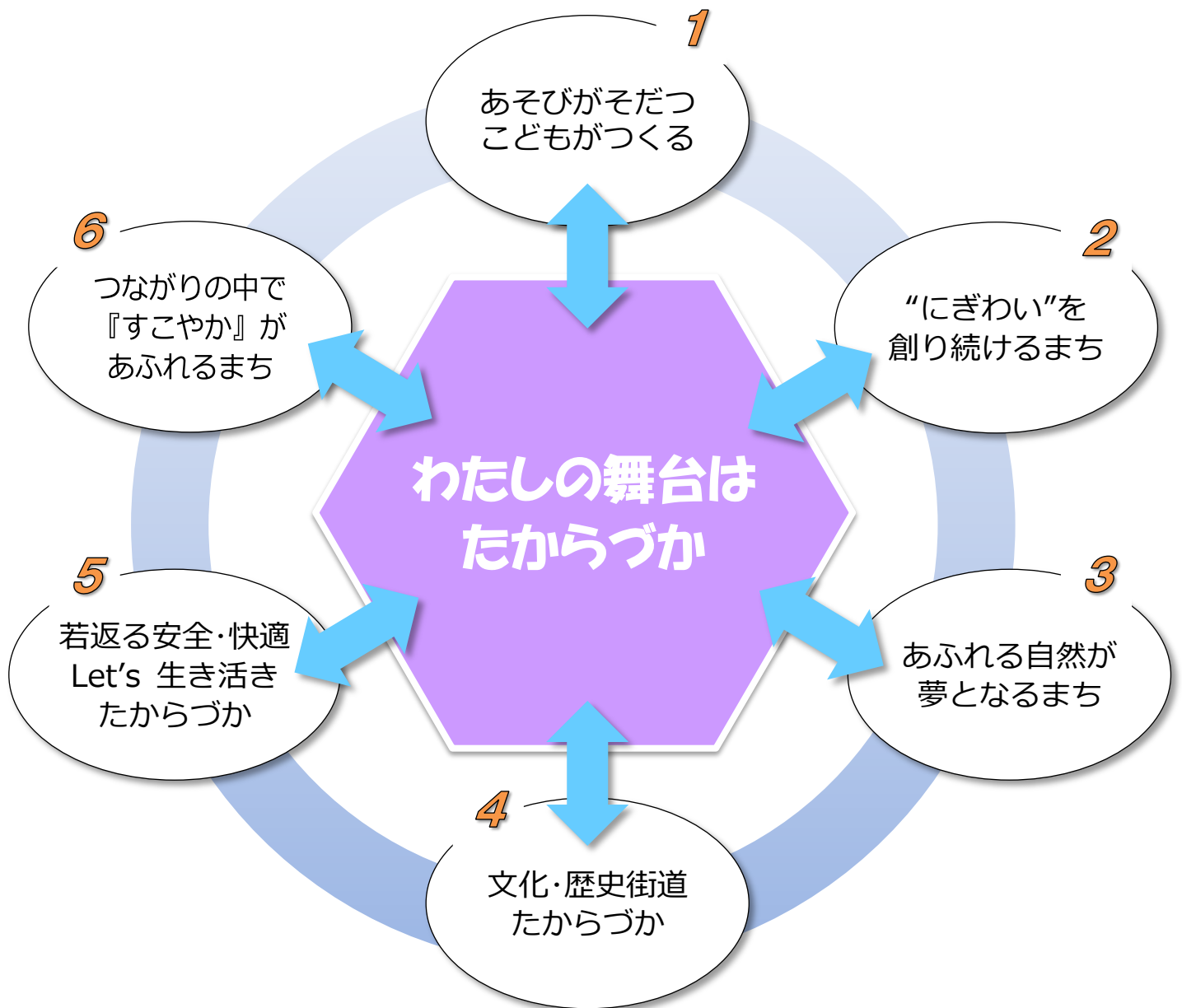
「市民」には「市内に住む市民」のほか「市内在勤」、「市内在学」の方を含みます。

## 【 目 次 】

- 1 「まちづくりの視点」と6つの「めざすまちの姿」 ----- P 1
- 2 「タカラボ」開催経過 ----- P 10
- 3 「タカラボ」関係者 ----- P 11



「まちづくりの視点」と6つの「めざすまちの姿」をまとめました。市民、行政は、その方向に沿ってまちづくりを進め、新時代の宝塚をともに築くことができればと願います。



## わたしの舞台は たからづか

私たちや未来を担う子どもたちが幸せと感じられ、安心な毎日を過ごすことができる未来を築くためには、市民が主体となり、子どもから大人まであらゆる世代がまちづくりに関わる必要があります。

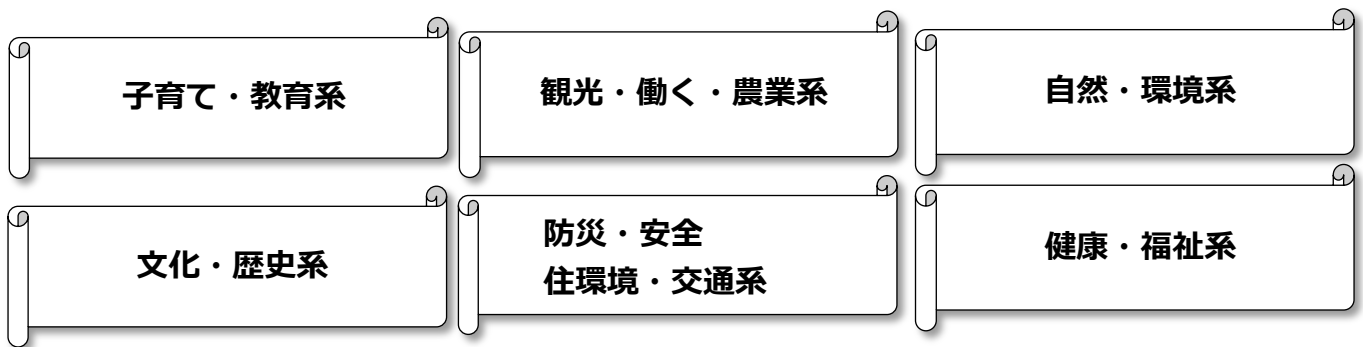
そのためには、「やりたい」ことができる環境を創り出し、まちを若返らせ、子どもから大人まで多くの市民が「つながり」を持てるようになることが大切ではないでしょうか。そうなれば、人が集まり、まちを発展させることができると思います。



## 6つの「めざすまちの姿」

次ページ以降の6つの「めざすまちの姿」は、参加メンバーが6つの班に分かれ、取りまとめました。テーマは、その分野だけにとらわれず、さまざまな意見が出せるように、〇〇系と設定した上で、各班で議論しました。

### テーマ一覧



#### 【めざすまちの姿】

テーマ毎のめざすまちの姿

#### 【①宝塚の良いところ、残念なところ】

市民が日常で感じている良いところ、改善が必要と思う残念なところ

#### 【②めざすまちの姿が実現したことを確認する方法】

テーマ毎のめざすまちの姿の具体的な姿とそれが実現したことを確認する方法（まちの状態）

#### 【③私（私達）ができること】

テーマ毎のめざすまちの姿の実現に向かって市民ができると思うこと



## あそびがそだつ こどもがつくる

あそびの場や子育て環境が充実し、交流があり、こどもたちが、地域や学校の活動の中で、地域、社会への関わり方を学び、まちづくりに参加しているまち

## ①宝塚の良いところ、残念なところ

良いところ	残念なところ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 良好な住環境が整っている。</li> <li>・ 伸びしろはまだあるが、子育て支援制度が充実している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遊び場が不足している。</li> <li>・ 子育て関連の情報発信が不足している。</li> <li>・ 仕事と子育ての両立が困難である。</li> <li>・ 大人の寄り添う姿勢（気持ち）が足りない。</li> </ul>

## ②めざすまちの姿が実現したことを確認する方法

あそびの場や子育て環境が充実している。

- ・ こどものあそび場が増える。
- ・ 中高生向けの公園、健全に遊べる場が増える。
- ・ 待機児童数が減る。

日常的にこども同士や世代を超えた交流ができる。

- ・ 色々な世代が交わるオープンな場（機会）がある。

次世代を担うこどもたちが、地域や学校の活動の中で、地域、社会への関わり方を学び、まちづくりに参加している。

- ・ トライやるウィークやミニたからづか、こども議会、生徒会など、まちづくりや学校運営に参加するこどもたちが増える。
- ・ こどもへのアンケートの結果でまちへの満足度が上がる。
- ・ 若年層の選挙の投票率が向上する。
- ・ 地域教育が充実する（地域教育に参加する大人の数が増える）。
- ・ 自己肯定感が上がる。
- ・ 遊び心（余裕）のある大人が増える。

## ③私（私達）ができること

- ・ まちづくりについてこどもの目線で考える。
- ・ お隣さん化（隣近所の間関係づくり）やおとなの自己肯定感向上により、他人への寛容さを醸成する。
- ・ こどもにもわかるような情報発信をする。
- ・ ほめほめデーなどの活用により、“いいところ”探しを進め、自分を大切に、人を大切にする気持ちを育てる。
- ・ こどもが遊べる環境を整える。

## “にぎわい”を創り続けるまち

まちを市民が自ら知り発信することで、まちの情報が行き渡り、市内での買い物や飲食、イベント、西谷を訪れる人も増え、“にぎわい”を創り続けているまち

### ①宝塚の良いところ、残念なところ

良いところ	残念なところ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 知名度が高い、ブランド力がある。</li> <li>・ 宝塚歌劇など観光スポットがある。</li> <li>・ 自然が豊か、かつ都会からのアクセスが良い。</li> <li>・ 人が穏やかで、のんびりしている。</li> <li>・ 文化的な雰囲気がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 魅力が知られていない。</li> <li>・ 観光資源を活かせていない。</li> <li>・ 働く場所（雇用）が少ない。</li> <li>・ 埋もれた宝・西谷へ行きにくい。</li> <li>・ 地域への関心度が低い。</li> </ul>

### ②めざすまちの姿が実現したことを確認する方法

市内で買い物・飲食をもっと楽しんでいる。

- ・ 各店の売上が増加する。
- ・ 商業施設の空き床がゼロになる。
- ・ 新規出店が廃業より多くなる。

西谷に行きたいと思う人が歌劇を観に行きたいと思う人と同じくらい増えている。

- ・ 農業生産が毎年アップする。
- ・ 移住・定住者が増える。
- ・ 観光入込客数が増える。

市民も市外の人、まち（市街地・西谷地域）の情報をよく知り、利用している。

- ・ 主要イベントを始め、イベントの開催回数、来場者数が増える。

### ③私（私達）ができること

- ・ 宝塚について自ら知り、利用し、体験し、発信するというサイクルを創る。

あふれる自然が夢となるまち

自然が守られ、活用されて、美しい自然の中で恵みある暮らしができるまち

①宝塚の良いところ、残念なところ

良いところ	残念なところ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「六甲山」「武庫川」「西谷」など、都会でありながら自然が豊かである。</li> <li>・ 温泉がある。</li> <li>・ まちに歴史がある。</li> <li>・ 歌劇のブランドイメージがある。</li> <li>・ 交通の便が良い。</li> <li>・ 生物多様性が豊かである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境・観光資源を活かせていない。</li> <li>・ 歌劇と阪急に頼っている。</li> <li>・ 渋滞が多発する。</li> <li>・ 駅前に元気がない。</li> <li>・ 行政と市民の情報共有が十分でない。</li> </ul>

②めざすまちの姿が実現したことを確認する方法

<p>美しい自然の中で恵みある暮らしができている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移住者が増加する。</li> <li>・ 市民の暮らし満足度、幸福度がアップする。</li> <li>・ 自然エネルギー、ソーラーシェアリングが増える。</li> </ul> <p>自然が守られ、活用（遊びなど）されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ こどもたちへの自然環境学習が深められている。</li> <li>・ ボランティアが増加する。</li> <li>・ 自然が保護され、乱す人の数がゼロになる。</li> <li>・ 西谷で農業に従事する人（ボランティア含む）が増える。</li> <li>・ 宝塚を訪れる人が増加する。（阪急・JRの市内乗降客がアップする。）</li> </ul>
---

③私（私達）ができること

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゴミ拾いをする事でまちをきれいにする。</li> <li>・ イベントを開催する。イベントに参加する。</li> <li>・ 自然に関わるボランティアを増やし、連携を図る。</li> <li>・ 企業がまちづくりに参加する。企業と市民が win-win の関係をつくる。</li> <li>・ 若い世代が自然に関われるよう楽しさ・価値を伝える。</li> <li>・ 自然の家の稼働を応援・参加する。</li> <li>・ 市民が公園の維持管理に積極的に関わる。</li> <li>・ 情報発信する。</li> </ul>
--

## 文化・歴史街道 たからづか

宝塚の文化・歴史が十分に発信され、市内のみならず市外の子どもや大人まで宝塚の文化・歴史に親しめるまち

## ①宝塚の良いところ、残念なところ

良いところ	残念なところ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史・文化を感じられる観光資源が多くある。</li> <li>・ 「宝塚歌劇」という世界ブランドがある。</li> <li>・ 「宝塚学検定」という宝塚を深く知ることができるツールがある。</li> <li>・ 歴史、文化が市民の生活に根付いている。</li> <li>・ 清荒神清澄寺の「火の神様」や中山寺の「安産祈願」のように歴史、文化が市民の生活に根付いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宝塚の文化・歴史を発信するための産業界・行政それぞれのつながりが明瞭でない。</li> <li>・ 歌劇ブランドをまちの活性化に、文化・歴史に触れてもらう機会として十分に生かし切れていない。</li> <li>・ 歌劇の観客に文化・歴史に触れてもらう機会を提供できていないように思える。</li> <li>・ 宝塚の文化・歴史を子どもたちに継承していく公的な施策がないように思える。</li> </ul>

## ②めざすまちの姿が実現したことを確認する方法

教育現場で子どもが宝塚の歴史に親しんでいる。

- ・ 学校で文化的（音楽・歴史）体験にふれる機会が増える。

宝塚の文化・歴史が十分に発信できている。

- ・ SNS等で巡礼街道の寺社仏閣などの情報発信が増える。
- ・ エフエム宝塚で文化・歴史を紹介する番組が高い人気を維持している。

大人（市民・観光客）が宝塚の歴史に親しんでいる。

- ・ 行政・民間連携で行う巡礼街道や温泉など宝塚の歴史を探訪するイベントとそれに参加する人が増える。
- ・ 市公認ツアーガイドが増える。

## ③私（私達）ができること

- ・ 市民が主体となり、行政を中心とした縦割り組織に横串を入れる。
- ・ 各地域のコミュニティが連携し、市民全員で活性化した「まちづくり」をする。
- ・ SNSでタカラボ活動を発信する。
- ・ イベントに積極的に参加するとともに、参加したイベント情報を発信する。
- ・ 市民が手作りで文化・歴史に特化したイベントを企画・運営する。

## めざすまちの姿⑤

### 若返る安全・快適 Let's 生き活きたからづか

安全性が高く、心豊かで、子を産み育てやすい、人もまちも若返って活力が将来維持できるまち

#### ①宝塚の良いところ、残念なところ

良いところ	残念なところ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉄道・道路の広域ネットワークが充実。</li> <li>・ 地形は自然環境に恵まれ、津波では防災面で有利である。</li> <li>・ 治安が良い。</li> <li>・ 災害時には他地域の被災者にも施設・公園等を役立ててもらえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内道路は狭い歩道、橋、踏切、危険な電柱や邪魔な柵、樹木、見通しの悪い交差点など、昔のままで、通行者に優しくない。</li> <li>・ 複数の避難路は山手住宅地でも都市部でも確保されていない。</li> <li>・ 若い世代が安心してこどもを産んで、家族生活を立てにくい。</li> <li>・ 商業は先細りしている。</li> </ul>

#### ②めざすまちの姿が実現したことを確認する方法

人口の構成が若返って、まちの活力が維持されている。

- ・ 生産年齢人口と年少人口の比率が上がる。
- ・ 市立病院には産科が復活し、出生数と産科医院の数が増える。
- ・ 健全な財政の指標として、起業がしやすい環境が整備され、税収が増える。

住環境が向上する。

- ・ まちづくりルールの数が増える。

安全な生活ができています。

- ・ 道路は道幅、電柱、ミラー、樹木、塀等の改良で、交通事故と歩行者事故の発生件数が半減する。

いざという時でも安心できる体制が整っている。

- ・ 自主防災組織と必要情報の共有により、災害時の避難時間が短縮される。
- ・ 地域で「あいさつ」「声かけ」をする人が増える。
- ・ 防災訓練に親子参加が増える。(授業に保・幼・小・中・高・大・会社も組み込む)

#### ③私（私達）ができること

- ・ 若い世代から政治には積極的に参加する。(18歳から選挙デビューを、高校・大学で可能になれば)
- ・ 防災情報の発信・共有によって一人ひとりが防災意識を高める。
- ・ 安全な住環境があれば、市民は自らまちに根付いて経済・社会・教育に貢献し、生活や子育てを助けることができる。
- ・ 地域安全ネットワークを充実し、地域によるまちづくり、地域による防災の取組に参加する。
- ・ 経験・知識を活かせるよう高齢者が地域参加する。
- ・ コミュニティバスの普及、自家用車の利用制限、自転車の安全な併用により交通網の利用を充実する。
- ・ 地域の防災計画を策定する。

## つながりの中で「すこやか」があふれるまち

つながりが多様になり生きがいがある暮らしができ、健やかに暮らせているまち

### ①宝塚の良いところ、残念なところ

良いところ	残念なところ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民活動が活発である。</li> <li>・ 元気なシニアが多い。</li> <li>・ シニアの活躍の場が多い。</li> <li>・ 自然が豊かでリラックスしやすい。</li> <li>・ 小さな公園が多い。</li> <li>・ 散策コースがある。</li> <li>・ スポーツが盛んで指導者も施設も多い。</li> <li>・ スポーツを楽しんでいる人が多い。</li> <li>・ 市民主体のサロンが活発である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベントが市民に知られていない。</li> <li>・ 交通環境が悪い。</li> <li>・ 世代間交流が少ない。</li> <li>・ スポーツ施設が老朽化している。</li> <li>・ 健康センターの存在が知られていない。</li> </ul>

### ②めざすまちの姿が実現したことを確認する方法

健やかに暮らせる市民がたくさんいる。

- ・ 健康寿命が延びる。
- ・ 高齢者及び多世代の居場所が増える。
- ・ 高齢者の外出回数、働く人の余暇の外出回数が増える。
- ・ こどもだけでなく、多世代への食育が行われ、食が大事にされている。
- ・ スポーツイベントや娯楽の市民大会（仮称）の参加者が増える。
- ・ 余暇を楽しむ施設（ボーリング、カラオケ、囲碁、将棋等の高齢者も参加しやすい施設）が増える。

つながりが多様になり生きがいがある暮らしができている。

- ・ 高齢者、障碍（がい）者、女性等の就職率が上がる。
- ・ ひきこもりの人が減るなど孤独な人がゼロになる。
- ・ 大学食堂や市役所食堂の市民利用が増える。
- ・ 市民主導のイベントの数・参加者が増える。

### ③私（私達）ができること

- ・ 多世代間で実行委員会をつくり、イベントを計画する。
- ・ 情報のプラットフォームをつくり、皆にイベントを知ってもらう。
- ・ 大学食堂を健康についての学びの場にする。

## 2

## 「タカラボ」開催経過

【全体ワークショップ】場所：宝塚市立中央公民館ホール

回	日時	内容	参加者数
1	2月9日(土) 9:45~12:00	お互いを知って、宝塚の未来を一緒に考える気分を高めましょう!	43人
2	2月16日(土) 10:00~12:00	宝塚の良いところ、残念なところから、宝塚がどんなまちになったら良いか考えましょう!	39人
3	3月2日(土) 10:00~12:00	宝塚がどんなまちになったら良いかを踏まえ、私(私達)ができることを考えましょう!①	33人
4	3月9日(土) 10:00~12:00	宝塚がどんなまちになったら良いかを踏まえ、私(私達)ができることを考えましょう!②	38人
5	4月13日(土) 10:00~12:00	目指すまちの姿を整理しましょう!①	30人
6	4月20日(土) 10:00~12:00	目指すまちの姿を整理しましょう!②	36人
7	5月18日(土) 10:00~12:00	「目指すまちの姿」が実現したことを確認する方法などを考えましょう!	33人
8	5月25日(土) 10:00~12:00	これまでのワークの集大成として提言骨子を作りましょう!	32人
9	6月29日(土) 10:00~12:15	提言書を完成しましょう!	33人
延参加者数			317人

【作業班】場所：宝塚市立中央公民館学習室

回	日時	内容	参加者数
1	5月18日(土) 13:00~15:00	・提言書の構成、枠組みの検討等	9人
2	5月25日(土) 13:00~15:20	・全体をつなぐ目指すまちの姿の検討等	7人
3	6月14日(金) 17:30~20:00	・テーマ別の目指すまちの姿の整理 ・全体をつなぐ目指すまちの姿の検討等	8人
4	6月22日(土) 13:30~16:00	・提言書案の検討	8人
5	7月4日(木) 9:30~12:30	・第9回全体ワークショップの意見の反映 ・提言書の完成	7人
延参加者数			39人

※作業班：全体ワークショップの意見を踏まえ提言書の作成作業を行う。



### 3 タカラボ関係者

◆メンバー

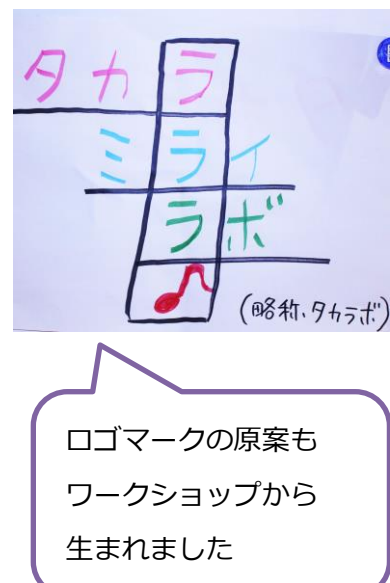
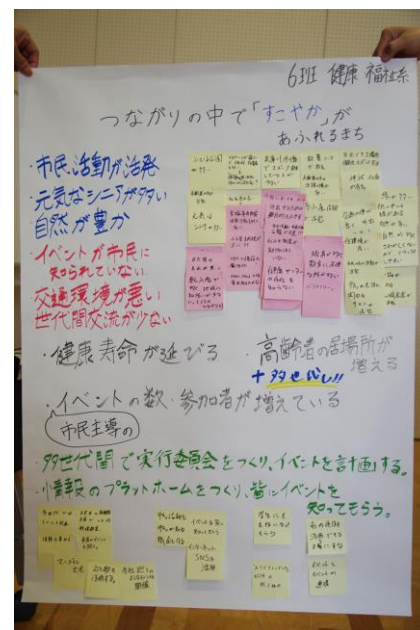
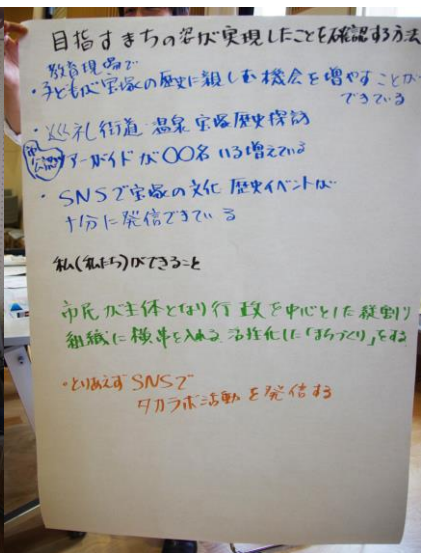
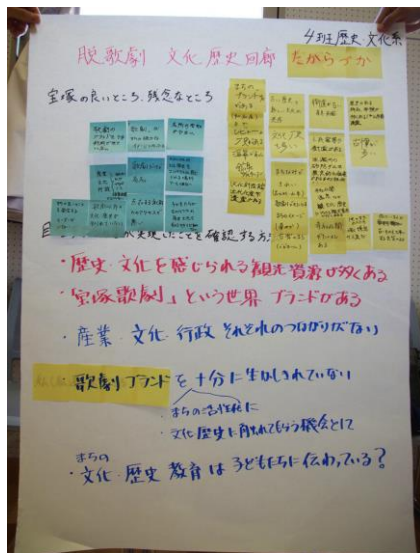
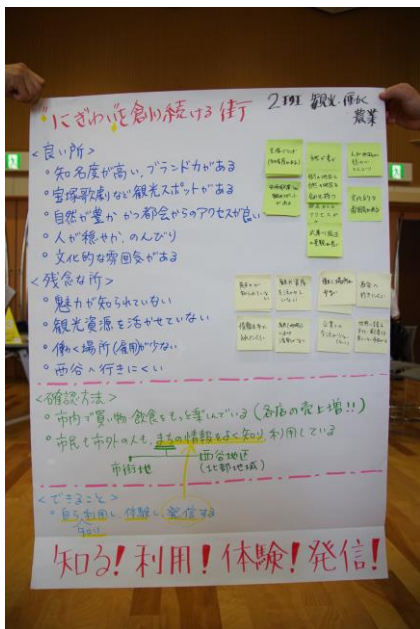
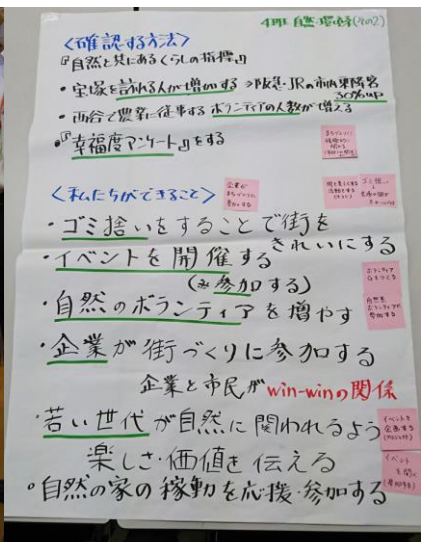
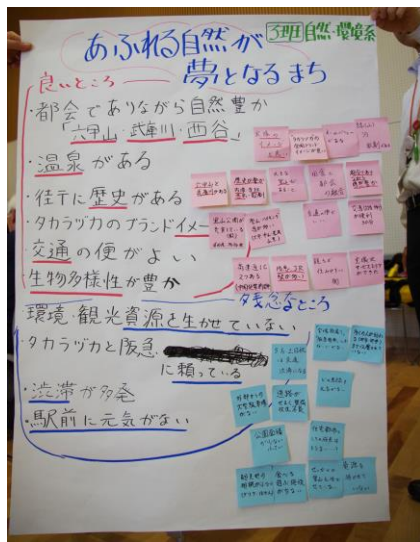
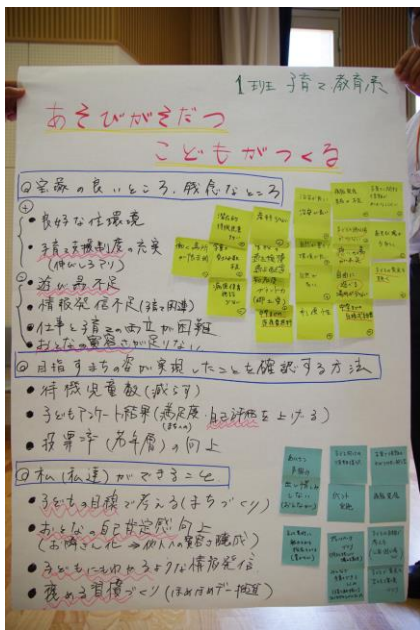
飯室 裕文 ○	杉本 美由紀
石川 良平	角 昌司
井上 健太郎 ○	曾谷 睦
伊庭 聡	高瀬 梓
植木 幸子	龍見 奈津子 ○
梅田 美佐子	田中 裕人
大川 賀子	中山 光子 ○
大城 静香	西中 優子 ○
大槻 憲司	橋之爪 鮎子 ○、タカラボロゴ作成
岡田 英里	花田 雅史
岡田 琢也	兵頭 果穂
岡田 洋子	藤井 太郎
奥野 始	堀田 真希
加藤 富三	堀 信義
株本 美保	本下 瑞穂
河本 卓也	本田 智之
喜多河 孝康	水川 繁光
久保 明子	宮本 真由美
久保田 康大	森下 慎司
小松 謙太	矢田 郁乃
小宮 真佐代	山岡 保寛 ○
小森 誠	山崎 雅士
佐久間 陽 ○	山本 舞鈴
七野 真衣	吉村 歩
柴田 寿一	若山 晴司
新谷 健太	和田 高典

※五十音順、敬称略

○はタカラボ作業班メンバー

- ◆アドバイザー 久 隆浩 教授（近畿大学 総合社会学部 環境・まちづくり系専攻）
- ◆事務局 宝塚市企画経営部 政策室 政策推進課
- ◆運営支援 株式会社地域計画建築研究所（アルパック）





タカ ラ  
ミ ラ イ  
ラ ボ  
♪